

〔国際会議発表〕

発表研究者	京都大学 大学院医学研究科 博士後期課程 戸部 陽太	2232107
参加会議	Association for Research in Otolaryngology MidWinter Meeting 2024	
開催場所	Anaheim, California	
出張期間	2024 年 2 月 2 日～2024 年 2 月 8 日（7 日間）	
発表論文	Different Cortical Activities Associated with Susceptibilities in Audiovisual Integration in Normal Hearing Subjects	

概要：

本国際交流助成により参加した The 47th Annual MidWinter Meeting of Association for Research in Otolaryngology は耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における世界最大規模の学術会議である。当初は基礎分野中心とした学術会議であったが、近年聴覚中枢領域についての報告数が急激に増加しており、本大会におけるヒトを対象とした聴覚関連中枢機能解析の報告は 70 題に上った。当教室からは「Different Cortical Activities Associated with Susceptibilities in Audiovisual Integration in Normal Hearing Subjects」と題してポスター発表を行った。人工内耳を装用した高度難聴者の聴覚中枢における音声情報（話声）と視覚情報（口唇の動き）の統合処理プロセスを、脳波を用いて評価する上で健聴者コントロールデータを解析した報告である。発表会場では、Friedrich-Alexander University（ドイツ）を始めとする同領域の研究者と意見を交換する機会に恵まれた。また、我々の報告は遠方からの参加者に対して贈られる Travel Award を受賞し、当教室の活動内容が国際的に認められた。他大学のポスター発表では、人工内耳装用者の脳波解析における independent component analysis を用いたノイズ除去や Granger causality test を応用した脳活動領域の相関解析など、当教室のさらなる成果に繋がる知見を得ることができた。私個人としては初めての国際学会発表の機会をいただき、成功裏に終えることができ充実感を得るとともに、同領域の著名な研究者と直にコミュニケーションを取ることができ大いに刺激を受けた。また脳波研究に携わる多くの研究者と交流できたことで疑問点や関心事項を共有し、仲間がいるという心強さを感じた。これからも交流の機会を持ち続けたいと思う。